

市民の作品展示 第18回

小林浩太郎

絵画・書・詩画 作品展

～令和に生きる～



「冬ごもりから醒めた自然」

12/17 火 - 1/31 金

図書館利用者の方々の文芸作品やコレクション等を紹介する「市民の作品展示」、第18回となる今回は、小林浩太郎さんに絵画、書、そして詩画を提供して頂きました。優しく柔らかな色合いで豊かに自然を表現し、時には大胆な筆運びで自身の思いを絵や書に託した浩太郎さんの作品は、多くの人たちを元気づけています。今回の展示では、令和に入ってから作成された作品を中心に展示しています。展示設備の不十分な施設での試みですが、ゆっくりご覧いただければ幸いです。

2019年12月 都留市立図書館

都留市立図書館

毎週月曜と12/29～1/3、1/14、1/31 休館 9:30～17:15(火水木は19:00) ☎0554(43)1324 市立図書館

■小林 浩太郎さんプロフィール

山梨県都留市在住 1996年生まれ 現在22歳

生後まもなくてんかん発作が頻発し、脳性まひに至る。現在も話せず全介助で医療的ケアを必要としながら、大好きな創作活動を意欲的に行なっている。3年前に絵だけではなく字も書けることがわかり、介助を受けながら気持ちを言葉にしている。

絵や文字の介助をするのは、10歳の時からのお付き合いの佐藤袈裟江先生。

作品は二人の信頼関係の賜物です、と本人は表現している。

■ごあいさつ

小林浩太郎 2019年12月

僕は小林浩太郎です。僕はよく思うことがあります。朝起きて目が覚めて、僕は生きています。僕の夢は毎日を生きたること、ずっとずっと長く生きて、持っている力をできるだけたくさんの人に聞いてもらえるようにすること、それが今の僕の夢です。

ですから、こうして皆さんと作品を通して出会うことができることにとても感謝をしています。僕の作品の中に込めた僕の思いを少しでも感じとってくだされば幸いです。

僕の作品を見た感想などぜひ寄せてください。

【ぼくにとっての創作とは】

僕はまず、描きたいものをイメージします。そこに袈裟江先生がふと手を添えてくれると、僕はほぼ思った通りに手を動かし自分の表現をすることができます。

この作品たちは僕の作品だけれども、袈裟江先生が僕の手を取って支援してくださなければ生まれません。袈裟江先生と僕との心のやりとりが、この作品に現れています。袈裟江先生とでなければこの作品は生まれないのです。

袈裟江先生も、僕の思いが手から伝わり、まるで一心同体のように描いていると言ってくれています。

■展示作品

〈絵画・詩画〉

- ・令和
- ・冬ごもりから醒めた自然
- ・夏もぼくの心も燃えている
- ・早春のふじ
- ・令和の初冠雪
- ・紅葉
- ・かおりはことば
- ・大きな愛 空と一体
- ・僕のこころ
- ・いのち

ほか

〈書〉

- ・楽
- ・言葉
- ・全力投球
- ・一步一会
- ・努力は夢を生む

ほか

「かおりはことば」

